



6月27日、ふれあい交流センターにて、嵐山町囲碁の会による避難訓練が行われました。今回の避難訓練は、同会が自主的に行ったもので、会の活動中に地震が起こった場合を想定し実施しました。

参加者は、大滝会長の的確な指示により、部屋のドアを開ける、机の下に隠れる、高齢者の補助をしつつ階段を降りて避難という行動をスムーズに行っていました。

終了後もそれぞれの場面による意見が出され、話し合いをしていました。



嵐山町囲碁の会避難訓練が実施されました

オオムラサキの観察会が行われました



7月2日、オオムラサキの森活動センターにて、育てる会主催のオオムラサキの観察会が行われました。

当日は、嵐山モウモウ緑の少年団の子どもたちやその保護者をはじめとする25人ほどが参加し、オオムラサキの成虫や、ジャコウアゲハの幼虫などを観察しました。昆虫の生態だけでなく、その天敵や餌となる植物についての説明がありました。

交通安全教室が行われました



自転車でもルール違反をしたために起きた事故の実演

7月10日、埼玉県教育委員会と埼玉県警察本部の連携事業として玉ノ岡中学校にて、プロのスタントマンによる「スケアードストレイト」教育技法を使った自転車交通安全教室が行われました。

目の前でされる交通事故の実演に、生徒たちは何度も驚きの声をあげていました。終了後は「急ぐとついスピードを出してしまうけれど、落ち着いて交通ルールを



トラックの死角に入ったことで起きた事故の実演

を守り、自転車はゆっくり漕ごうと思いました」などの感想が上がり、事故の怖さと交通ルールを守ることの大切さを学ぶ機会になりました。

花いっぱい運動が行われました



6月17日、花いっぱい運動が実施されました。

武蔵嵐山駅東口ロータリーでは、暑いなか、ふる里づくり推進協

議会の方々町制施行50周年の記念として、花を「らんざん50」という形に植栽しました。

東西連絡通路の窓から見るができます。ぜひご覧ください。



「味の会」が中学生に郷土の味を指導しました



6月29日、「地元嵐山の味を大切に伝え、残していこう」をモットーに活動している嵐山味の会が、菅谷中学校の生徒に郷土料理の調理実習指導を行いました。

今回指導を行ったのはうどん作りと団子作りです。できあがった料理は試食を行い、郷土の味の美味しさと継承していくことの大切さに気付かされる時間になったようです。

男女共同参画について話す会が実施されました



6月28日、ふれあい交流センターにおいて、「広報嵐山」6月号の特集記事を読み、身近な「男女共同参画」について語り合う会が開催され、11人の参加者が集まりました。

参加者からは「女性が外で仕事や地域の活動をしていると、『旦那さんはどうしているの?』などと聞かれる」「年齢を重ねて自分もパートナーも男女の働き方に関する考え方が変わってきた」などの身近な出来事が提示され、「それってなぜかしら?」「あなたは思う?」と活発な意見交換が行われました。



第6回飯能ベアフットマラソンに出場しました

5月21日、町内在住の水原淳さん、蓮さん親子が、日本中から参加者が集まる全国大会「第6回飯能ベアフットマラソン」に出場しました。この大会は、日本で唯一、裸足を条件に行われるトレイルランニング大会です。

当日は、参加者の棄権が続出する中、水原淳さんが7位、息子の蓮さんが14位という結果を残しました。

ラベンダー摘み取り体験を行いました



7月8日、鎌形地内のラベンダー農場「千年の苑」にて、一日限定・ラベンダー摘み取り体験を行いました。今回摘み取りを行ったラベンダーは、強い香りが特徴の「グロッソ」という品種で、ドライフラワーやポプリなどにして楽しむことができます。

当日は快晴の下、300人以上の参加者が訪れました。

